

# 福岡県環境教育学会

Fukuoka Society of Environmental Education

## ニュースレター

Vol. 67 2022.4.23

- 1 環境教育活動紹介「大人になっても魚部ってます！」NPO 法人 北九州・魚部……………P1
- 2 沖縄県八重山の離島(多良間島)で出会った SDGs……………P3
- 3 会員活動報告「ESD 韓国スタディ・オンラインセミナー2021」……………P3
- 4 第25回年会案内……………P5
- 5 第43回例会案内……………P6
- 6 オピニオンリレー……………P6

### 【環境教育活動紹介】

## 大人になっても魚部ってます！

NPO 法人 北九州・魚部

「街の水族館&生き物図書館」 副理事長 上野 由里代

### 1. 魚部(ぎよぶ)とは

1998年に北九州高校の部活動として誕生。はじめは地元北九州の紫川を中心に活動しており、採集した魚の展示などをしていたため「魚部」という名前となった。

私が魚部に入部したのは2012年。小さい頃から生き物好きであった私は魚部に入部がたくて、北九州高校へ入学。魚部創設者の井上大輔顧問を筆頭に様々な採集調査や企画展示、観察会等を行った。

更に活動の幅を広げようと、2015年には子どもから大人全国誰でも入れる任意団体「北九州・魚部」を設立。2018年には「NPO 法人北九州・魚部」となった。現在は全国30都道府県に260組ほどのメンバー(アマチュア、研究者、写真家など)が集っている。調査取材対象地は全国各地と拡大し、日々活動を行っている。

### 2. 魚部カフェ(バイオフィリア)について

「生物多様性」という言葉は近年耳にする事が多くなったが、関心がある人はまだまだ多くないと感じる。気付かれないまま、もしくは気付いても手遅れで消えてゆく自然や生き物は今も数多く存在している。そのような事態を防ぐためにも生物多様性保全の必要性を熱心に訴え、行動することは身近な自然や生き物はもちろん、将来の人々のためにも重要であるだろうと考える。

今までの魚部は、調査・観察会・講演会・展示会・図鑑制作など



バイオフィリア イチオシメニュー「どじょう蒲焼き丼」

を通じて「生き物や自然との関わり」について興味関心を持ってもらう機会を設けていたが、何か新たなアプローチで、世の中に提案ができないか。魚部の活動理念や内容を再点検する中で生まれたのが魚部カフェ『バイオフィリア』である(2019年12月に開業)。

店名はアメリカの昆虫学者 E.O.ウィルソンが提唱する「BIOPHILIA」という概念から付けた。カフェスタイルにした目的の一つは、飲食物提供により日常的に人が訪れるようにするためである。生き物への興味関心をかき立てられた人々を呼び込む、新たな『場』を目指している。



魚部基地(事務所)生き物水槽が沢山あります！



魚部カフェ(バイオフィリア)店内の様子

このカフェには主に4つのオリジナルな仕掛けがある。

①生き物図書専門のブックカフェ(1,000冊超)、②ゲッチョ先生こと盛口満氏の原画ギャラリー、③魚部が関わる地元の水生生物のアクアリウム展示、④関西以西唯一の生き物雑貨屋(博物館などのミュージアムショップ除く)がそうである。

現在、カフェはコロナ禍の影響を受けつつも、お子様連れのご家族やお年寄りの方など幅広い世代の方にお越しいただいている。

カフェの取組みとして、開業当初から各地の研究者や専門家をお招きして行うサイエンスカフェの開催(コロナ禍で中止の月もあり)や、2020年夏には『どじょう丑の日プロジェクト』を新たに立ち上げた。

その中でメニューとして追加したのが「どじょう蒲焼丼」であり、通常の営業中はもちろん、高校で出前授業(講義+料理体験)を実施したり、子どもたち向けにワークショップを開催したりと、様々な方法でウナギ資源枯渇と食文化の面から問題提起を続けている。

### 3. 最後に

私は小さい頃、身近な生き物と触れ合う楽しさだけを感じることができればいいと思っていたが、魚部での活動を通じて、生き物が棲み続けられる環境を残すため、そして人間の持続可能な生活のためにも、身近な生き物の存在や現状を「伝える」ことの大切さを知った。それと同時に守り続ける難しさ等も日々実感している。

タイトルに書いている「魚部(ぎよぶ)ってる」とは「採集(ガサガサ)をしている」という意味の魚部オリジナルの言葉である。高校の部活動だった魚部が NPO 法人化し、全国各地まで活動の幅を広げ、カフェまで作ってしまうなんて、誰が思ったであろうか。上記で述べた通り、現在の魚部は様々な方法で「伝える」取り組みを行っているが、まだまだこれからも新しい取り組みに挑戦していきたいと思っている。



高校での出前授業の様子



魚部カフェでのワークショップの様子

私たちが小さい頃から感じている身近な生き物と触れ合う楽しさを、将来多くの子どもたちも感じられる環境が残っていくように、これから先もずっと、ずっと魚部(ぎよぶ)っていこうと思う。

※市民交流スペース「魚部基地(事務所)」

〒803-0814 福岡県北九州市小倉北区大手町 2-12

見学ご希望の方は上野までご連絡ください(メールアドレス:yuriyo.ueno1985@gmail.com)

※街の水族館&生き物図書館「魚部カフェ(バイオフィリア)」

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津 5 丁目 1-35 到津ビル 103 号

(営業時間 11 時～20 時 定休日火曜・水曜 電話番号:093-287-0517)

## 【活動報告】

# 沖縄県八重山の離島(多良間島)で出会った SDGs

会長 三宅 博之

2022 年 3 月 27 日(日)午後 1 時から福岡県環境教育学会運営委員会の定例会議が開かれました。

私は、沖縄県宮古郡多良間村(多良間島)の前泊港の隣にあるビーチからポケット wifi を通して参加しました。このコロナ禍によって online を通しての会議が急に普及し、どこにいても電波が届くところならば、会議に参加できるようになったわけです。

この原稿も沖縄本島の民宿東浜(あがいはま)で書いています。沖縄の海にいたることができるなんて羨ましいと思われるかもしれませんが、イメージや宣伝に騙されないでください。ここ一週間の天候は、どんよりと曇り、時には小雨がぱらつき、気温も福岡県と変わらないぐらいです。

多良間島のビーチを写した右の写真を見てください。これが現実です。昨年 8 月 13 日に小笠原諸島近郊の福徳岡の場の海底火山の爆発によって沖縄県に漂着した多量の黒色の軽石が散見されます。



黒い漂着物が軽石

さて、多良間島は、死ぬまでに行ってみたいと思っていた島で、サトウキビの有機栽培をしていることで有名です。近年、日本で最も美しい村の一つに選ばれています。最低 2 泊と考えていましたが、コロナ禍の拡大を懸念して、村では客の宿泊はすべて断っているようです。よって、宮古島からわずか 15 分の飛行距離にあったので、日帰りで出かけました。



多良間島 SDGs のポスター

北九州市は、2018 年度に SDGs 未来都市に認定されましたが、沖縄県は 2021 年度です。スローガンは、「誰一人取り残さない持続可能な『沖縄らしさ』の実現～SDGs 推進による沖縄の継承と変革への挑戦～」です。その一環として、多良間村も SDGs に取り組んでいます。あいにく、日曜日だったので、役場の職員の方に詳細を尋ねることはできませんでした。

航空機やフェリーの出発地である宮古島は人口増加や地価の高騰などの現象が続いています(タクシーの運転手の話では家賃は東京と同程度とのこと)が、多良間村は、人口減少に歯止めがかかりません。

また、基幹産業であるサトウキビ栽培や畜産に従事する農業人口は減少しています。よって、様々な分野での課題を発見し、SDGs 事業の中心に

人口減少を食い止め、産業を継続・発展することを掲げています。八重山の田舎が色濃く残っている島で、民俗学習館もありますので、ぜひ、来て館長さんとじっくりお話しください。

【活動報告】

## 「ESD 韓国スタディ・オンラインセミナー2021」を開催して

会 員 川島 伸治

北九州 ESD 協議会(調査研究・国際プロジェクト)が主催する韓国スタディツアーは、本来であれば現地を訪れ、地域の方々との交流を中心に“ESD の視点で行われている様々な取組をお互いに学ぶ”ことを目的としていますが、昨年度からはコロナ禍ということでオンラインによる交流会として開催しています。国連大学から認定を受けた RCE\* 同士としてのこれまでの「お付き合い」があるからこそ、世情が変化しても、オンラインになっても、継続した交流ができる関係性を保てるのだと思っています。

今年度はオンラインセミナーとして国内に広く呼びかけを行い、延べ 30 名の方々からご参加を頂きました。セミナーのメインテーマについては、韓国では“オーガニック食材”を用いた給食が一部で実施されているということもあり「食育」としました。今回セミナーの概要は次のとおりです。

○日 時:2021 年 12 月 18 日(土)午後 1 時から 4 時

19 日(日)午前 10 時から 11 時半

○サテライト会場:グローバルアリーナ(宗像市)

○参加 RCE:18 日…RCE 統営(トンヨン)、RCE 道峰(ドボン)

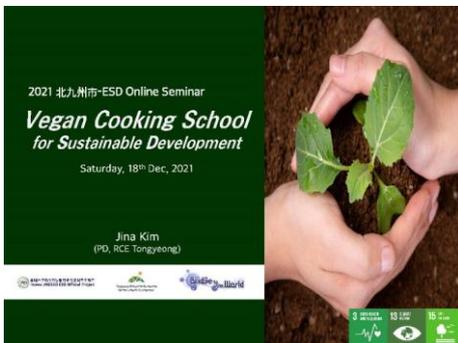
:19 日…RCE 麟蹄(インジェ)



今回メインテーマを「食育」としましたが RCE 北九州として、自身の食育については何も知らないということが分かり、メンバーで事前学習を行いました。

オンラインセミナー直前の 12 月 3 日(金)午後 6:30 から、北九州市保健福祉局 食育・栄養改善担当係長の磯田陽子氏を講師にお招きして、「第 3 次北九州市食育基本計画」についてレクチャーして頂きました。

ワークライフバランスの変化とともに栄養の取込みも変化がみられることや、女性の野菜不足が深刻な状況にあること等、普段は聞くことがないお話しをしていただきました。



本番のオンラインセミナーでは、以下のような内容が話されました。

まず RCE 北九州からは、北九州市食育推進計画と北九州市立大の学生の食事情について発表を行いました。次に RCE 統営からは、統営市内の学校で行われた「野菜給食活性化プロジェクト」について、RCE 道峰からは、ヴィーガン用など給食の多様化や GMO(遺伝子組換え食品)の削減などについて、そして RCE 麟蹄からは、親環境(環境にやさしい有機農業)で栽培した食材を使った学校給食の現状と課題についてそれぞれ発表を行いました。各々の発表後には意見交換を行い、食育と ESD や SDGs との関係、ユネスコスクールなどの話しにまで及び、有意義な交流が出来たのではないかと考えています。

最後になりますが、時代は SDGs 流行りです。しかし、その SDGs 達成のためには「ESD による人材育成」が欠かせないと言われていています。国内には北九州 ESD 協議会と同じように北海道道央圏、仙台広域圏、横浜、中部、兵庫-神戸、岡山、そして大牟田の各 RCE が活動しています。SDGs は 2030 年までの目標ですが、ESD は「自ら考え行動する人材を育成する」ための概念であり 2030 年以降も継続し続けるものです。SDGs 達成のためにも今以上に ESD の普及と実践に力を注ぐべきであると考えます。

\* RCE: 持続可能な開発のための教育 ESD に関する地域の拠点

**日ごろの活動の成果発表や講演会などがあります！**

## **福岡県環境教育学会第 25 回年会のご案内**

### **テーマ「みんなでつながる SDGs」**

開催期日： 2022 年(令和 4 年) 8 月 20 日(土) 10:00~16:00

開催場所： 中村学園大学・短期大学部 4号館 2F

内 容： 午前 開会行事, 講演, シンポジウム

午後 ポスター発表, 一般発表等

参加費： 無料(発表要旨代として会員・学生 500 円 非会員 1000 円)

問 合 先： 発表申込 7 月 8 日/要旨原稿:7 月 22 日/参加登録:7 月 31 日

※ 詳細は別紙または本学会ホームページをご参照ください。

第 25 回年会実行委員長(福岡地区担当) 石原 忍

本年度の福岡県環境教育学会第 25 回年会は、「みんなでつながる SDGs」と題し、開催いたします。

昨今、話題になることが多い SDGs ですが、その取り組み方については千差万別の状態です。

その多様性こそが 17 のゴールを設定した理由の一つなのでしょうが、一方では、バラバラの活動状況に陥り、結果として大きな環境問題の改善を成し得なかったとなりかねない危うさも秘めていると危惧されます。

その点において、福岡県環境教育学会では、四半世紀以上に渡り議論や実践発表を通して、持続的発展性(Sustainable Development)についての取り組みを深めてまいりました。今こそ私たちは様々な方と意見の交換を行い、これからの地球・社会・人間のあるべき姿を模索し、これらを環境教育の立場から発信をしていかねばならないと考えます。

今回の年会は、多方面で活躍する方々に、それぞれの持続的発展性に対する実践活動を紹介していただき、それを通じ、会員相互の環境意識の深まりを企図するものです。

17 のゴールをどのようにして達成していくのか、そして達成した後、我々を待つ地球の姿とはどのようなのか、そのようなビジョンがおぼろげながらも各人に意識されるようになることを願い、この年会を企画するものです。

今回の年会では、多様な取り組みを紹介するとともに、高校生や大学生など若い世代の意見も積極的に聞きながら、これからのこの国における環境教育のあるべき姿を共に考えていきたいと思っています。奮ってのご参加お待ち申し上げます。詳細は別紙または本学会ホームページをご参照ください。

※感染症の状況によって、開催方法を変更または開催中止する場合があります。変更または中止する場合は、本学会ホームページでお知らせしますので、随時確認をお願いいたします。

## 久留米 高良川でSDGsを考えませんか！

### 第43回例会のご案内

#### テーマ 「水質試験とネイチャーゲームでSDGsを考えよう」

今日の地球温暖化により、生物の多様性が脅かされています。久留米 高良川でネイチャーゲームを体験し、生物多様性とSDGsを考えましょう。

また、河川の水質保全及び河川と生活排水との関連を知る実験もします。

- 1 開催日時 令和4年5月15日(日)10:00~15:40
- 2 開催場所 くるめウス(筑後川防災施設)(ゆめタウン西側、高良川河口)
- 3 内容
  - (1) 石けんを広め自然環境を守る活動の報告(久留米市民の会)
  - (2) 化学物質と生活排水に関する話と筑後川支流である高良川の水質簡易試験の体験
  - (3) SDGs関連のネイチャーゲーム(生物多様性関連)の体験(くるめネイチャーゲームの会)
- 4 対象・人数: 学会会員および一般 20人を予定
- 5 参加費: 無料
- 6 服装: 長袖・長ズボン・帽子等野外活動ができる服装
- 7 持ち物: 筆記用具、水筒、タオル、昼食
- 8 申込締切: 令和4年5月12日(木)
- 9 申込み方法: 下記へメールかFAXで申込み下さい。
- 10 申込・問合せ先: 第43回例会事務局 時井純子 携帯 090-7295-4767  
E-mail jtokii@air.ocn.ne.jp FAX 0942-43-9522(青峰保育園)



※マスク着用、熱がある方、体調が悪い方は参加をご遠慮ください。

※感染症の状況により、中止になる場合があります。その際には、申込者にご連絡します。

**皆様お誘いあわせの上、ふるって御参加ください！**

#### 【オピニオンレー】

### 脱炭素社会に向けて、子どもたちが意識変容を起こす環境教育の推進

会員 川島 伸治

私が「環境」という分野に携わるようになったのは30年程前のこと。福岡市に住んでいた時、下水道関係の設計会社を辞めて(一財)九州環境管理協会(以下「九環協」と記述)に転職してからです。

九環協では、主に環境アセスメントの準備書作成業務において、大気質、水質、動植物、生態系、景観などのフィールド調査、影響予測解析など、様々な環境に関する知識と学びを経験させて頂きました。この九環協で就労したことは、私の「環境」の原点と言っても過言ではないと思えるほどです。

その後、北九州市に移り住み地方公務員として働きながら、地球温暖化対策活動の普及啓発を行うようになり、そのなかでESDと出会って多くの仲間ができ、青い地球の会ブルーアースという活動母体と「エコ博士ロンリー」というキャラクターが生まれ、現在に至っている所です。ここで私見を少々お聞きください。

循環型社会の基本施策として「3R活動」があります。リデュース、リユース、リサイクルの他にリフューズや

リペアなども以前から言われていますが、この3R 活動で対象としているのは「ゴミ」です。ゴミをいかにして減らすか、もっと言うと燃やすゴミや埋め立てるゴミをいかにして減らし、資源を循環させるかです。

そして、ゴミは循環することでその存在価値を与えられて「有価物」と呼ばれ「ゴミ」ではなくなります。焼却や埋立てなどの消費によって流通するゴミの全体量は多少は減少しますが、減った分はバージン資源が投入されます。資源循環とは、呼び名が「ゴミ」から「有価物」に替わるだけなのではないか。最近そんな気がするのです。

では、脱炭素社会に向けて、地球温暖化対策と循環型社会形成という双子の課題に対処するためには、どのような対策が必要なのでしょう。それは、流通しているゴミ(有価物)の全体量を減らすことです。

少ない資源循環の量で成立可能な社会を形成することです。そのために産業分野では更なるイノベーションを、民生分野ではライフスタイルの改革が必要となってきます。そして、そのために重要なことが「教育」です。学校教育、企業内教育、社会教育、生涯教育などあらゆる「教育の場」を創り広義の環境教育を実践することです。

教育によって個人の意識変容を起こし、そこから社会変容へとつながりを持たせることで、更なるイノベーションやライフスタイルの改革が「あたりまえ」となる社会を目指すことが可能になると思います。

これまで私が活動の対象として保育園児、幼稚園児、小学生などを中心としているのは、次世代を担う子どもたち自身に意識変容を起こしてほしいからです。それは、大人は色々としがらみが多いためか、変わらなければならないと分かっていてもすぐには変わらない生き物だからです。大人を見捨てた訳ではありませんよ。

私はこれからも子どもたちが意識変容を起こす一助となるべく、活動を続けていく所存ですので、みなさまの更なるお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【オピニオンルー】

### SDGs実現にかかっている「私たちが 何を選ぶか！」

会 員 森本 美鈴

2030 年まで、あと 8 年というのに SDGsの達成は、本当に実現できるのであろうか。

確かに、新聞やテレビ、また企業の宣伝にも SDGsは謳われているが、そんな冠をつけた方がカッコいいという一種のトレンドやファッションのようになっていないか。標ぼうに終わっていないか。私たちは、SDGsの実践を、生活にちゃんと落とし込んでいるだろうか。

ある年の、当学会の年会で、多くの高校生が参加していた生ごみコンポスト中心の分科会では、生ごみ混合機やミミズ使用の科学的根拠など、力に満ちた発表が次々に行われたが、最後に、自分の家で実際に生ごみコンポストを実践している人は挙手をして、という私の問いに、100 人以上のその会場で、誰一人手をあげるものはなく、その事実にはショックを受けたことは、記憶に新しい。

最近、とある場で、若い女性から「私は子どももない夫婦なので、チマチマとした節約はしたくない。そんな私に何ができるか。」との質問があった。やれることはいろいろあるが、私は、まずは電気を化石燃料以外の発電に変えてはいかがか、と提案した。私自身、数年前に変えて、我が家に来る電気は、例えば、1 月はバイオマス 94.9%、小水力 2.6%、地熱 3%、太陽光 0.9%だった。

再エネは高価だという声もよく聞く。しかし、よく考えて欲しい。生活の中で、冷暖房を入れ、24時間冷蔵庫を使い、照明、煮炊き、テレビ、PC、スマホまで使ったの金額である。会食やおしゃれな洋服、趣味等の値段に比べれば、電気代はむしろ安いと言えないか。その中で、再エネに変えても不自由はない。むしろ私たちが進んで負担しなければ、再エネは推進されないし、いつまでたっても安くならない。

私たちが、何を選ぶかが、SDGs実現にかかっているのである。

ところで、再エネは、太陽光、風力、水力などを電気エネルギーに変換後、湯を沸かすなど、使用しているが、変換せずにダイレクトに使えるエネルギーがある。太陽熱である。太陽熱は、昔、屋根に太陽熱温水器を備えていた家が方々にあった。安価で即、温水として使える。もし、国内のすべての家庭がお風呂や給水に利用したとしたら、どれだけの電気が不要であろうか。つまり、CO2は確実に削減できる。

確かに、太陽光発電は汎用性が高いが、太陽熱温水器も給湯機に接続すれば、風呂だけでなく台所、洗面所、床暖房など広範囲に使える。冬でも微温湯が出るし、地上設置すると保温タンクも備えることができるらしい。中小企業のボイラーにも使えるのではないだろうか。さらに、太陽熱自体は家屋に循環させるパッシブソーラーとしても使える。もちろん、短所はある。設備自体が300<sup>キ</sup>程度あり、家屋によっては屋根の上に備え付けるには重すぎるらしい。

しかし、昨年、環境省が出した脱炭素ロードマップにも、「太陽熱、地中熱、下水熱の利用拡大」と明記されている。更なる技術開発が進み、一年を通じて、冷房等にも使えるようになることを期待している。

多くの市民は、太陽光発電と太陽熱利用の区別すら明確でないという実態もある。温暖化防止を本気で取り組むなら、市民にもきちんと仕組みを説明し、やれることは何でもやらなければ、ならないと思う。



太陽光発電も太陽熱温水器もある家

**【お知らせ】**

**今年度は会長・運営委員の選挙の年です！**

5月中旬頃に選挙の告示と会長・運営委員の推薦・自薦の依頼を郵送します。  
候補者名簿の告示、投票を経て、9月頃に新体制がスタートする予定です。

**事務局からのお知らせ**

**1) 学会運営についてのご意見をお寄せ下さい。**

運営委員会は年7回程度開かれています。ご意見等ございましたら、事務局総務までお知らせ下さい。

**2) 環境教育についての情報をお知らせ下さい。**

ニュースレターは年3回程度発行されます。会員にお知らせしたい情報がありましたら、事務局総務まで記事をお送り下さい。

**3) 会費納入のお願い。**

年会費を未納の方は郵便振替により納入ください。

個人会員：2,000円

学生会員：1,000円

法人会員：15,000円

郵便振替口座番号 01720-3-76825

口座名：福岡県環境教育学会

**4) 会員を増やしましょう。**

入会手続は、学会ホームページをご確認ください。

入会申込と同時に、会費を納入下さい。会費納入確認と運営委員会承認の後、入会手続完了のご連絡を致します。お問い合わせは事務局会計まで。

**福岡県環境教育学会**

<http://www.fuku-kan-kyouiku.org>

E-mail: [info@fuku-kan-kyouiku.org](mailto:info@fuku-kan-kyouiku.org)

**事務局**

**事務局長・総務**

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学 坂本憲明研究室気付

Tel : 0940-35-1359

E-mail: [info@fuku-kan-kyouiku.org](mailto:info@fuku-kan-kyouiku.org)

E-mail: [sakamoto@fukuoka-edu.ac.jp](mailto:sakamoto@fukuoka-edu.ac.jp)

**会計(会費振込など)**

金藤芳就 Tel: 090-4779-3147

E-mail: [info@fuku-kan-kyouiku.org](mailto:info@fuku-kan-kyouiku.org)

**庶務**

太田泰弘

E-mail: [info@fuku-kan-kyouiku.org](mailto:info@fuku-kan-kyouiku.org)

※住所変更の場合は必ずお知らせください。